

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和08年03月06日

計画の名称	皆野町と長瀬町の水環境保全												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	皆野・長瀬下水道組合(普通会計分)												
計画の目標	皆野町と長瀬町の生活環境を整備し、清流を維持するとともに、東京湾へ流れる荒川の水質向上に努める。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	377	A	377	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2末	R4末	R6末
1	下水道処理人口普及率(汚水)を63%(R2)から65%(R6)に増加させる			
	下水道処理人口普及率 整備区域内人口(人)/総人口(人)	63%	64%	65%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分)	直接	皆野・長瀬 下水道組合	管渠(汚水)	新設	長瀬処理分区(汚水管)	L=1,850m,実施設計	長瀬町						207		-
	A07-002	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分)	直接	皆野・長瀬 下水道組合	管渠(汚水)	新設	皆野第1処理分区(汚水管)	L=1,507m,実施設計	皆野町						163		-
	A07-003	下水道	一般	皆野・長 瀬下水道 組合(普 通会計分)	直接	皆野・長瀬 下水道組合	管渠(汚水)	新設	皆野第2処理分区(汚水管)	L=40m、実施設計	皆野町						7		-
												小計					377		
											合計					377			

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
皆野・長瀬下水道組合社会資本総合整備計画事後評価規則に基づき、皆野・長瀬下水道組合社会資本総合整備計画事業評価監視委員会にて事後評価を実施	令和8年1月頃
	公表の方法 組合ホームページへ掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	汚水処理整備済み面積の増加により、生活環境の整備、公共水域の水質保全が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
残りの未普及地区については、人口減少などによる費用対効果等を考慮しながら優先順位をつけ、効率的に整備し普及率を向上させる。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	65%
	最終実績値	64%
		国費の交付額が要望額よりつかなかったことや費用対効果等を考慮した結果、一部工事を実施しなかったため